

「もしかして」あなたが救う小さな手



地域で子どもを守りましょう

平成26年度に全国の児童相談所が対応した児童虐待相談の対応件数は88,931件と過去最多を更新し、茨城県でも同年度の児童相談所における児童虐待の対応件数は1,258件と過去最多となっています。

身近で虐待を受けたと思われる子どもを発見したときには、速やかに市や児童相談所、児童相談所全国共通ダイヤル「189」へご連絡ください。調査の結果、虐待ではないことが確認されても、そのことで責任を問われることはありません。

児童相談所とは

児童相談所は、市町村と適切な役割分担や連携を図りつつ、18歳未満の子どもに関する家庭その他からの相談に応じ、子どもや家庭に対して必要な援助を行い、子どもの福祉を図るとともに、その権利を擁護することを目的として設置された県の機関です。

すべての子どもが心身ともに健やかに育つよう、子どものあらゆる問題、養育相談、保健相談、障害相談、非行相談、育成相談、その他の相談)についての相談に応じています。相談内容についての秘密は守られ、相談は無料です。

虐待かもと思ったらいちやく189番へ
189番にかけるとお近くの児童相談所につながります。

通告・相談窓口

- いばらき虐待ホットライン
☎0293-2210293
(24時間対応)
- 児童相談所全国共通ダイヤル
☎189
- 筑西児童相談所
☎0296-241614
- 家庭児童相談室
(市役所子育て支援課内)
☎0296-4518121

どんなことが児童虐待になるの？

- 身体的虐待** 殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する など
- 性的虐待** 子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触るまたは触らせる、ポルノグラフィの被写体にする など
- ネグレクト** 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
- 心理的虐待** 言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(ドメスティック・バイオレンス:DV) など

楽しく子育てをしていきましょー

特集1 11月は「児童虐待防止推進月間」です



児童心理司の講話に耳を傾ける受講者たち(8月20日、下妻保健センターで)

「子育て応援教室」(ペアレント・トレーニング)をスタート

子育てに難しさを感じる親が増えている昨今、市保健センターでは平成27年度から子育て応援事業の一つとして「子育て応援教室」(ペアレント・トレーニング)をスタートしました。教室は、お母さんの話が理解できるおおむね3歳から就学前の幼児の保護者で、子どもとのかかわりなどに悩みを持つ方が対象。親子が望ましい関係を築き、深めていくことを目的とした「親のための子育てのトレーニング」を行います。

今年6月〜10月の前期教室では、対

象の保護者6人が全5回の講座を受講しました。筑西児童相談所児童心理司の協力を得て開催した講座では、親が子どもの行動をよく見て、具体的なほめ方や指示の出し方を学び、ロールプレイで体験。講座で学んだことを実際に家庭で実践しながら効果的な子育ての方法を身につけていきました。

教室の初回と最終回には「自信度アンケート」を実施し、親としての心の安定や子どもの理解、関わりなどの「自信度」の変化を確認しました。

受講者の声

ダメなところが目についていいところを見ていなかったが、いいところを見れるようになり、優しい親になれた。子どもよりも自分が待つことを覚えた。怒りの許容範囲も広がった。否定的注目ではなく、肯定的注目で見れるように努力した。

30代(自信度:初回65%↓最終回72%)

当たり前だと思っただけだったが、ほめるようになった。また、悪いところばかり目に付いて、怒ることが多かったが、二歩引くことも覚え、「いいや」と思えるようになった。子どもも母親の変化が分かるのか、真似をして妹の散らかしたおもちゃを妹に声をかけながら、自分で片付けてくれた。

40代(自信度:初回59%↓最終回58%)

「子育て応援教室」(ペアレント・トレーニング)は現在、11月〜平成28年3月に後期教室(全5回・6人)を開催中です。平成28年度も同時期に開催を予定しています。

Message



筑西児童相談所
児童心理司
小林 美穂さん

子育てママに一言

子育てを楽しんでいますか? 楽しいときもあるけれど、楽しむ余裕がなくなっているときもあるかもしれませんね。

そういう時は、お子さんの「困ったこと」に目がいきがちです。ついつい叱って、子どもも反発し、お母さんも自信がなくなってイライラする、そんな悪循環になっているかもしれません。「ほめたほうがいい」ってよく聞くけど、ほめるところが見つからない、どうやってほめたらいいかわからない、という気持ちかもしれません。

ペアレントトレーニング(ペアトレ)では、子どもへの関わり方のコツを学びます。ただ聞くだけではなく、参加者が親役や子ども役になって練習します。たとえば、「ほめる」練習の時、コツを使ってほめられると、初めは緊張していたお母さんが、「ほめられるって、嬉しいですね!」と笑顔で話してくれます。子どもの気持ちを実感できるようです。

よく観察してみると、子どもの良い行動を見つけることができます。お母さん自身も、良い関わりができていくことに気づくでしょう。ペアトレでは、親子関係の良い循環を増やしていくことを目標にしています。

皆さんも、ペアトレのコツを使って、楽しく子育てしていきましょう。

問い合わせ

保健センター ☎43-1990